

## 第1期 三木市財政健全化計画の現状報告まとめ

## 財政健全化が必要となった3つの原因

## 1つ目の原因

新たな施策の積み重ねによる経費の増加

## 2つ目の原因

合併特例債などの多額の借入れに伴う返済額の増加

## 3つ目の原因

普通交付税（合併算定替）の段階的な減額

## その一方で

自主財源の見直しや社会情勢の変化に応じた既存事業の見直し（事業の廃止、縮小、整理・統合、転換など）、合併後の公共施設の適正配置や老朽化対策などには積極的に取り組んでこなかった。

## その結果

- 市税などの収入が増えない中で、むしろ支出の規模が拡大する財政運営が常態化
- こうした財政運営の結果が、ここ数年で「収支の赤字（不足）を補うための財政基金の取崩しが必要」という形で表面化
- このままの状況が続けば、数年のうちには基金が枯渇するおそれ

## だからこそ、今

**三木市が財政的にまだ体力のあるうちに財政健全化に向けた取組に着手し、将来にわたり持続可能な財政基盤をつくる必要がある。**

## そのために、

ただ単に「財政が厳しいから」という視点だけでなく、各種事業の目的や必要性、その効果などを検証するため、主に次の視点から事業の総点検（棚卸し）を実施。

- ◆ 目的等の確認・・・事業の実施目的や意義が、時代の流れ（社会環境や各種制度の変化）とともに変わっていないか？
- ◆ 有効性の確認・・・事業の効果が低く又は限定的となっていないか？
- ◆ 効率性の確認・・・費用と成果が見合っているか？他に手法はないか？

## 取組の結果、

職員のみならず、市民（及び関係）の皆様のご理解とご協力のもと、ほぼ計画通りの収支改善を（令和4～6年度累計実績：14億8,966万円）果たしている。